

会員企業紹介

訪問
インタビュー

経営研究集会開催迫る



(株)ハセイプランニング

専務取締役 周藤 亮佑 氏 (桐生支部所属)

今回は、一年延期された経営研究集会の開催を目指し奮闘中の(株)ハセイプランニング・周藤実行委員長にお話を伺いました。

▼会社概要

当社は、平成四年に社長である母が創業しました。社長と兄弟の家族経営で桐生市を中心に、完全地域密着型の小回りの利く不動産屋さんを目指し営業しております。業務内容は、買取再販、不動産売買仲介、賃貸仲介、賃貸管理、新築・リフォーム工事、相続問題など、不動産に関することは何でも相談に乗ります。

▼自己紹介

大学在学中は、将来への明確な目的もなく、サークル(合気道)活動をしながら大学生生活を送っていました。ただ、文系だったこともあり、就職先は営業職かとボンヤリ考えていました。

また、当時は環境問題に関心があり、使い捨て容器にも興味を持っていました。そこで、環境に優しい商材を扱うことで少しでも環境改善に貢献できればとの視点で就職先を探し、新卒で業務用雑貨・包装資材の専門商



講師を交えてZoom打合せの様子

社に就職しました。

全国に支店をもつ企業でしたので、関東圏の支店に配属されましたが、自分の将来を考えるようになっていたところに遠方への転勤(十年は戻れない)の話が出て、家業に戻る事を決めました。

▼経営研究集会実行委員会

二〇一七年度から継続して実行委員を務め、二〇二〇年度に実行委員長を引き受けました。委員長として動き始めた頃にコロナが拡がりはじめ、最初の大きな仕事は「開催中止の決断」

でした。それでも会議は継続して開催しながら研究集会開催の方法を模索していました。結果的に一年が経つてもコロナ以前の状態に戻ることはなく、オンライン併用の形で開催を決断しました。

▼例年との違いは？

一番はオンライン参加を取り入れたことです。各支部の運営委員会や支部例会、中同協関連の全国行事もオンライン開催となりました。オンラインでの参加は、移動が無などの物理的なメリットがある反面、想いや熱が伝わりづらといった、学びの深度に物足りなさを感じる声も聞かれます。

プ・小野里氏のご息という事が判明し、運命を感じて打診しました。コロナ過で改めて今後の事業活動への重要性が明確になった、インターネットを駆使した事業モデルのヒントが得られるはずです。

▼会社・同友会それぞれの展望

個人的に、自社の経営資源は自身の学びや情報量、人脈などの部分だと考えています。同友会をはじめとする学びや情報交換の場には積極的に出ていこうと思っていますし、会員の皆さんにもそうあって欲しいと思います。外部に触れる機会をうまく作り出して事業に活かしていきたいです。

■取材の様子や紙面に載せられなかった質問なども、

群馬同友会のHPに掲載予定。顔の見える広報紙を目指して今日もどこかで取材中！



研究集会特設サイト
はコチラ

所在地／桐生市稲荷町2-12
連絡先／TEL0277-45-3488
URL／http://hasei.jp